

## こころふしぎ

心はさまざまに変化します。大日経に六十種類の心の状態がおもしろく説かれています。たとえば、「智心」は賢ぶったうぬぼれの心、「風心」はフラフラとする浮気の心、「火心」は熱狂的なスポーツファンのような心、「室宅心」は自分の安全だけを守る自己中心的な心、「剃刀心」は出家者の悟り澄ましたような心です。

そのほかに「貪心」「疑心」「闘心」「鳥心」「鼠心」「雲心」「女心」などがあり、その心模様が私のなかに潜んでいます。六十心はほんの一例です。大日経ではさらに百六十心にも触れていますが、煩雑になるために詳しくは説いていません。千変万化する心の状態を説き明かしても終わることはないでしょう。

目は心の窓といえます。株価が上がれば目は輝き、契約が破棄されれば曇った目になります。その人の目の色でおおよその心情を知ることができます。私の本心が、ネオンのように夜の街に現れれば具合の悪いことになります。

ところで、自分の本心は分からないものです。他人に忠告されて気づくことがあります、しかし意地があってなかなか素直に認めようとはしません。

心は刻々と変化しています。心は喜んだり、悲しんだり、広くなったり、狭くなったりして、電波のように超スピードで走っています。このつかみどころのない心を理性がコントロールします。

ところで、本当の自分の正体は心ではありません。心は喜怒哀楽に酔っているだけです。心は、因縁や環境の刺激によって常に変化していて、定まりがないものです。

さて、本当の心の正体はどのようなものでしょうか？

それは、「空」であり、「零」であり、「宇宙」であります。心を空ずれば運命が変わります。祈りによって苦楽の原因が見えてきます。心はどのようにでも変化しますから、私は仏にも鬼にもなるわけです。

× × × × ×

おせがき法要 8月20日(火) 10時~15時 金龍寺本堂にて

### 『空海散歩』第三巻「たすけあい」

著者67名渾身の空海名言法話192話を読むことができます。

申込先/金龍寺・書店・筑摩書房/定価2,200円+税